

◆がんばらんば体操の普及促進を

Q「がんばらんば体操」を広めるためにはインストラクターの養成が必要であるが、現状と今後の計画は。《県民スポーツ課長》

県民スポーツ課に専任のインストラクターを1名配置し、市町には34名配置されているが、地域のイベントに対応するにはこの人数ではまだまだ不足であり今後ともに指導者の養成、育成を図る。

Q「目の前の全国的なイベントとしては夏の甲子園大会や都市対抗野球などがあるが、出場チームの応援には積極的にインストラクターを入れて盛り上げが必要ではないか。



上五島病院視察

《県民スポーツ課長》

県民体育大会とか県レベルの大きな大会にはできるだけ「がんばらんば体操」を披露して紹介するような場を設けている。都市対抗野球については長大生のチアガールを指導して応援を展開する。

◆乳幼児医療費の

現物給付制度に早期改正を

Q「償還払い制度から現物給付制度への移行について要望が方々から上がっているが県としての検討状況は。《こども家庭課長》

平成19年5月から、福祉医療制度検討協議会乳幼児等専門分科会、あるいは作業部会を設置して平成19年度に3回、平成20年度に3回実施し、昨年度は関係市町を訪問して、市町

の担当課長の意向をお聞きした。

Q「給付制度は全国ではどのような状況になっているのか。《こども家庭課長》

47都道府県のうち償還払いが10県、現物給付が22県、併用及び市町が、どちらかをとっているところが15県あり本県も15県に含まれる。

Q「子供をいかに育てやすくしていくかという施策として乳幼児医療費の現物支給は必要であり、子供政策をより充実したものにしていきたい。《こども政策局長》

過去に協議会を開始したところになれば、現物給付をというところに来ている向きもあり、各市町と協議し詰めていきたい。

採択された意見書

① 地方財政の充実、強化を求める意見書

② 未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

③ 原爆症認定訴訟の解決を求める意見書

④ 「事業主報酬制度の早期実現」と「個人企業における事業承継税制の創設」を求める意見書

⑤ 石木ダム建設推進に関する意見書

採択された決議

① 核兵器の廃絶と恒久平和を求める決議

採択された請願

① 「事業主報酬制度の早期実現」と「個人企業における事業承継税制の創設」に関する請願書

暑中お見舞い申し上げます

政権交代の熱い夏

衆議院が解散し、いよいよ政権交代をかけた歴史的な戦いがスタートしました。

1区…高木義明、2区…福田えりこ、3区…山田正彦、4区…宮島大典の完全勝利を目指しともに頑張りましょう。

この選挙で日本を変えなければ、明日の日本と地域は崩壊し明日の雇用と生活はありません。

政権交代は長崎から！政権交代は諫早から！！

諫早万灯川まつり

今年の梅雨はなかなか明けきらない状況の中、北九州や山口県などに集中



52回目を迎えた諫早万灯川まつり

豪雨をもたらした多額の被害が発生いたしました。犠牲になられた被災者の皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げますと共に早急に復旧ができますように祈念いたします。

私たちの諫早市においては昭和32年7月25日の未曾有の集中豪雨、諫早大水害で死者行方不明者など630名の尊い命が犠牲となりました。その日より52回目の慰霊祭、万灯川まつりが雨の影響で通常より2日遅れて27日の夜多くの市民の皆さんの参加の中で開催されました。

主催者や来賓の方より慰霊の言葉が述べられました。その中で「万灯川まつりは単なる花火大会ではない。大

「政権交代」に向けた「熱い夏」がやってきました。

「衆議院解散総選挙」に向けて選挙管理内閣として発足したはずの麻生内閣は支持率低迷により解散に踏み切れないままに、ズルズルと延命を図ってきましたが、自らの進退を問われるまでの状況に追い込まれ、ようやく衆議院を解散し8月30日の投票日を設定しました。

私たちは「政権交代」で日本を変えることを最大の目標として頑張ってきましたが、今まさにそのチャンスが到来いたしました。

これまでの政治の仕組みを根本から大改革して新しい日本、新しい国民生活の構築を図る「政権交代」の歴史的瞬間に立ち会える喜びを勝ち取るために、この「熱い夏」を「決着の夏」とするために共に頑張りましょう。

ご相談はお気軽に！

長崎県議会議員

山口はつみ



事務所：TEL・FAX 0957(43)2800
自宅：TEL・FAX 0957(44)1003
携帯：090(2514)9835
E-mail: hatumi@mrh.biglobe.ne.jp

この用紙は再生紙を使用しています。

水害を教訓として後世につないでいくための慰霊の場であることを若い皆さんに理解をしてほしい」と訴えられましたが、その通りであろうと思います。今後とも河川の安全対策には万全を期し市民の皆さんの安心と安全を確保することに努力いたしますと共に本明川が穏やかなることを祈念いたします。

核兵器廃絶に向けて

一方、長崎市はあの忌まわしい灼熱地獄の日から数えて64回目の暑い夏を迎えることになりました。「ノー・モア・ヒロシマ」、「ノー・モア・ナガサキ」、「ノー・モア・ヒバクシャ」この訴えは核兵器廃絶と恒久平和を願う私たち被爆国民の心からの叫びであります。

しかし核兵器はまだまだ世界に2万発を超えて存在していますし核兵器の脅威から今人類は解放されていないことはご承知のとおりです。

北朝鮮の脅威がまた新たに勃発浮上している状況にあります。

そういう中アメリカのオバマ大統領が核兵器のない世界を追求する決意を表明したことが伝えられました。まさに画期的な発言であります。

今こそ我が国は唯一の被爆国として核兵器の廃絶に向けて、特に長崎県はその先頭に立って行動する責務があります。

未来へと夢をつないで育てる緑

第33回全国育樹祭大会テーマ(H21年 百花台公園)

県政に活力！ 地域にぬくもりを！



長崎県議会議員

やまぐち 初 實

山口はつみ No.18 だより

平成21年8月 発行責任者：山口初實 編集責任者：榮 勇俊

